

イモガイ

分類：新腹足目 イモガイ科(腹足綱)
 学名：各項に記載
 英名：Cone

殻の形が里芋の子に似ているのでイモガイと呼ばれるが、殻口が狭長で肉を奥深くしまいこみ、その身が貧弱なため、ミナシガイとも呼ばれる。倒円錐形で螺塔は低く殻質は厚い。美しい斑紋を有するものが多いが、生きているときは殻皮に被はれているので外見されない。魚類、ゴカイ、ユムシ、貝類を捕食する、肉食性で口には列の鋭歯(矢舌)をもち、噛みつくとき毒液を注入する。房総半島以南の暖海から熱帯海域にかけて広く分布し、多くは沿岸の岩礁や砂底に生息するが、深海産のものもある。



Conus Sumatrensis
スマトライモ



Darioconus textile
タガヤサンミナシ



タガヤサンミナシ



C. mormoreus
ナンヨウクロミナシ



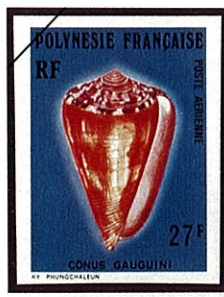
Lithoconus Litteratus
アンボンクロザメ



C. gauquini
ゴーキャンイモ



C. gloriamaris
ウミノサカエイモガイ



左端に同じ



イモガイ



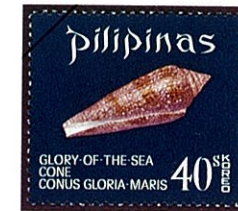
Conus betulinus
ダイミヨウイモガイ



左に同じ



C. geographus
アンボイナ



C. gloriamaris
ウミノサウエイモガイ



ウミノサカエイモガイ



C. marchionatus
ミコトイモガイの一種



左に同じ



Dendroconus striatus
ニシキミナシ



C. ammiralis
テンジクイモガイ